

OPDES

無断での転載やコピーを禁じます。
2009年6月

W.C.F.O. INC.

競技者/判定規約とガイドライン

WCFO INC.(以下WCFO)制定の規約及びガイドラインは、競技者がルーティンを創作するための指針となり、またWCFO主催のイベントや競技会での判定基準となります。

またOPDES国内競技規定と若干の相違事項がありますが、OPDES競技規定に記載されていない事項は、この規約ガイドラインに準じて行います。

WCFO 競技部門

成人部門—ハンドラー17歳以上、犬生後6ヶ月以上

シングル - 成人1名、犬1頭

ブレース - 成人1名、犬2頭

ペアー - 成人2名、犬2頭 または 成人1名とジュニア1名、犬2頭

チーム - ハンドラーと犬が同等数(各2名そして2頭以上)(ハンドラーは成人のみ、あるいは成人とジュニアの混合)

サッシニア - 65歳以上のハンドラー1名と9歳以上の犬1頭

ハンディ・ダンディ - 障害を持つハンドラー1名と犬1頭(参加承認が条件)

ジュニア部門 - 16歳以下のハンドラー、生後6ヶ月以上の犬

シングル - ジュニア1名、犬1頭

ブレース - ジュニア1名、犬2頭

ペアー - ジュニア2名、犬2頭

チーム - ハンドラーと犬が同等数(各2名、2頭以上)

演技部門の選択

演技部門は、下記のように分類され、タイトル取得対象イベントとすることができます。

成人及びジュニアのシングル部門: 演技種目として、ヒールワーク・トゥ・ミュージック(以下HTM)または、ミュージカル・フリースタイル(以下MF)のいずれかひとつ、あるいは両種目の選択も可能。

競技者は HTM、MF のいずれか、または双方のタイトルとレグ(ポイントのようなもの)を獲得することができます。

成人のブレース、ペアー、サッシー・シニア、ハンディ・ダンディ部門：

ジュニアのブレース、ペアー、チーム部門：

上記の競技者は、MF部門でのタイトルとレグを獲得することができます。

ヒールワーク・トゥ・ミュージック(以下 HTM)

1. ヒール・ポジション(脚側)の位置は、HTM 演技の最初の15秒以内に決定すること。
2. ヒール・ポジション(脚側)は、ハンドラーの周り360度とします。犬との位置取りはハンドラーの周囲360度どの位置であれ右脚側、左脚側、互いに正面に向き合う、互いに背中合わせ、同方向に一列に並ぶなどあらゆるスタイルが可能です。
3. ヒールワークは、犬とハンドラーの距離はできるだけ近い状態で行うこと。演技中はすべての動きにおいて、チームが一体感のある動きをすること。
4. ルーティンでは、HTM の様々なポジションでヒールワークや独創性を表現しながら、演技を通じてチームの一体感を実演すること。
5. HTMの演技中、ハンドラーと犬との距離をあけた遠隔の演技は行わない。
6. 演技中の蛇行(ウィーヴ)は行わない。
7. 演技中に犬またはハンドラーの体またはその一部を、垂直、水平方向から意識的にジャンプしようとするような動きは行わない。
8. HTM の規定演技においては、ウィーヴ、ジャンプや遠隔の動きが行われた場合は、それぞれにおいてその都度、技術得点から、0.3~1.0 点の減点となります。(違反對象となる動きの重大性に応じた内容で減点されます。)
9. HTM の規定演技中に脚側の位置を保持できない場合はその都度、技術得点から 0.1 から 1.0 点の減点となります。(それぞれのミスの重大性に依じて厳密な減点がなされます。)

*規約、減点、失格事由の詳細は、追加のガイドラインを参照のこと。

ミュージカル・フリースタイル(以下 MF)

1. ハンドラーと犬にとって危険でない限り、すべての動きが得点の対象。
2. 遠隔の演技、ウィーヴ、ジャンプ、送り出し、そして想像力に富んだ新しい動きなどは推奨され、高く評価されます。
3. 演技はどのポジションから始めてもよい。

*規約、減点、失格事由の詳細は、追加のガイドラインを参照のこと。

ハンドラーと犬の音楽演出と動きについて

HTMとMFは、ハンドラーと犬が一体となり、制限時間内に演奏曲のテーマやスタイルと調和した演技を表現することが重要です。一部の例として、ダンス・ステップやボディ・ポジションがあります。他の例として、演劇や物語のように、チームで音楽に合わせた動き、雰囲気、印象を活かして演出することもできます。競技のレベルが向上するにつれ、演技のなかで質の高い演出やレベルの高い表現動作がそれぞれのチームに要求されます。

競技の採点基準

採点方法

技術得点（総得点の50%）（最低得点1.0/最高得点10.0）

1. 内容(動きの量と多様性、技の豊富さ) — 最高得点 3.0ポイント

補足

- 様々な側面からの犬の動き(ハンドラーの360度内)
- 異なるボディ・ポジションや動き(腕、脚、頭、足など)
- 主要な動きや移行する動作の流れ

2. 犬とハンドラー双方の動きに対する正確さ— 最高得点 2.0ポイント

補足

- 犬とハンドラーの総体的な正確さと同調性
- ハンドラーの合図の適切さ、またその合図に対する犬の反応のスピードおよび精度
- 失敗や拒否への配慮
- ハンドラーの合図の自然な出し方

3. 犬とハンドラーの動きの流れに対する充実度—最高得点 2.0ポイント

補足

- ルーティン中の セット・アップ、開始、終了、休止に対する配慮
- 主要な動きと経過的な動きの流れ
- 全体的なルーティンの流れ

4. 高難易度のルーティン(複雑なステップ、異なる歩調、犬とハンドラー動きにおける難易性)

-最高得点 2.0ポイント

補足

- ハンドラーと犬の異なるボディ・ポジションと動きの難しい用い方
- 犬の動きに合わせたハンドラーの体と動きの調整
- 複雑かつ斬新な動きやコンビネーション

5. 音楽に合ったステップ-正確なリズムで-最高得点 1.0ポイント

- 上半身、下半身(腕、脚、頭)を使い全身で表現

・総技術点—10.0ポイント

芸術点（総得点の半分）（最低得点1.0/最高得点10.0）

1. 犬とハンドラーの活気、姿勢、集中力と一体感 — 最高得点 2.5ポイント

補足

- 全体を通して、犬とハンドラーの集中力と即応能力

2. 振り付けの質と独創性・ルーティンの構成 — 最高得点2.0ポイント

—ルーティンの中で、どれだけ独創性に富んだ動きを正確に編成しているか

3. リング・スペースの75%が使用されているかどうか(ジュニアと小型犬は50%を使用すること)

—最高得点 1.5ポイント

—犬とハンドラーが75% あるいは50%のスペースを、全体的にバランスよく使えているか。

注釈: 体高が35cm以内の犬を小型犬とする。

4. 規定演技の構成における音楽とその解釈の統一性 — 最高得点 1.5ポイント

—ルーティンがどれほど音楽とそのテーマにあっているか

5. 音楽とルーティンに対するコスチュームの統一性 — 最高得点1.5ポイント

—ハンドラーの衣装と犬の魅力が楽曲、テーマ、ルーティンをどれだけ盛りあげているか、または適合しているか

6. 観客に対するアピール度 — 最高得点1.0ポイント

—ルーティンに対する観客の反応の善し悪し、満足度、喜びの度合

総芸術点—10.0ポイント

● 採点対象は犬とハンドラーの両者

* 採点項目の中には、他の項目の採点に影響する場合があります。

例: 全体の流れと難易度、構成内容と振付の質や独創性、そして動作やステップと音楽やテーマの調和性が互いに全体の流れにおける採点について影響を与えることがあります。

(技術部門2番は技術部門3番、技術部門4番はと技術部門2番、技術部門1番は芸術部門2番、技術部門5番は2技術部門番と3番に影響する可能性があります。)

- 成人のビギナーレベルとジュニアの全レベルのスコアシートには、審判のコメント欄と上記の採点対象となる項目のナンバーが記載されます。
- 初参加、中級、上級の成人部門のスコアシートには、総技術点、総芸術点の得点欄と審判のコメント欄が記載されます。
- 得点表は3枚つづりで、1枚目が審判用、2枚目が競技者用、3枚目は WCFO の記録用です

すべてのルーティンに関して

1. すべての参加者は参加申込期日までに、各イベント参加費の支払を済ませておくこと(個人用イベント保険料と、ライブ及びビデオ・イベントの成人及びジュニア参加申込書を参照)
2. ハンドラーは必ず署名と日付入りの写真、承諾書及びプログラム内容を提出すること。ビデオ・イベントの場合は、参加申込書、及びパッケージと一緒にビデオ録画テープも提出してください。
3. 全部門において、参加犬のパートナーである“ハンドラー”とは、
 - a. 参加犬と生活をともにしている
 - b. その犬の世話をしている、
 - c. その犬と一緒にルーティンを創造し、練習を行い演技ができる
4. 純血か混血、性別を問わず、生後6ヶ月以上の犬が競技に参加可能です。例外: シーズン期の犬はライブ・イベントには出場できませんが、ビデオ・イベントには参加できます。
5. 一つのイベントに対する参加者数には定員が設けられています。
6. 主催者は、自身の参加を辞退する権利を留保しています。

7. 参加費の返金はいたしかねます。例外：申込締め切り後、シーズンが来てしまった犬のライブ・イベントへの参加辞退に対しては、WCFOが判断し、参加費の払い戻しを行います。WCFO主催の共同イベントでは、返金に対して獣医の証明書の提出義務はありません。
クラブ主催のイベントにおいては、主催者協会の任意により、10ドルのキャンセル料金を請求する場合があります。
8. 競技者は、ライブ及びビデオ・イベントでタイトルとレグ(ポイントのようなもの)の取得を目指し競い合います。ライブ・イベントで獲得したレグは、ビデオ・イベントで獲得したレグと同等のポイントと換算され、同じタイトル取得のために有効となります。
9. 各レベルのガイドライン、採点、タイトル情報は、ライブ及びビデオ・イベントで共通です。
10. さらに特定のビデオ・イベントに関する規則やガイドラインについては、ビデオ・イベント競技規約とガイドラインの項目を参照のこと
11. 生後6ヶ月以下の子犬は、イノベーション(イノベーション情報を参照)を含むタイトル競技のどの部門にも参加できません。もし子犬の飼い主が望むならば、競技会終了後に、イベント主催者の許可を前提とし、希望者は楽しむという目的で、子犬と一緒にリング内で演技を披露する機会もあります。参加する生後6ヶ月以下の子犬は、技能テスト(技能テスト情報は別紙参照)を受け、サンドラ・デイビス氏考案のK9Dressage(K9Dressageの公式ウェブサイト参照)に参加することができます。
12. 1つの競技イベントで、下記の部門とレベルガイドラインに従うという条件で、ハンドラーと犬は複数の部門に参加できます。
シングル部門の各MFとHTMIに1度だけエントリーでき、それ以外の適切な部門でもそれぞれ一度だけ、同じハンドラーと犬のメンバー/チームで参加することができます。
13. 使用音楽は、既に一般公開された音楽が望ましいです。競技者が作曲、購入、あるいは無料配信の音楽を用意することもできます。WCFOは、WCFOとWCFOの会員クラブ主宰のライブとビデオ・イベント用のBMIブロードキャスト・ミュージック(アメリカの音楽著作権団体)とASCAP(American Society of Composers, Authors and Publishers)米国作曲家・作家・出版者協会、アスキャップの許可を取得しています。WCFOのイベントに参加するものは演技に使用する音楽についてのこれらのライセンスを取得する必要はありません。
14. 衣装、音楽、ルーティンすべてにおいて、表現や歌詞の内容が不謹慎なもの、不快感を与えるもの、過激なものは認められません。
15. ライブ・イベントでは、競技者本人が、大会開始前に音楽用ブースで、競技者の名前、参加部門、音楽のタイトルが記入された媒体(CDなど)が2つ揃っているか確認してください。音楽はカセット・テープ(テープの最初から音楽がスタートするよう録音されたもの)、CD(曲目のトラック番号を明確に表示したもの)のどちらでも可能です。
16. ライブ・イベントでは、審査員は観客席から離れたリングの長手方向に着席します。アナウンス席、音楽ブース、採点ボードは審査員席のすぐ近くに設置されます。
17. ライブ・イベントでは、可能な限りいつでも公開練習が行えます。
18. ライブ・イベントでは、参加部門の開始前に、ハンドラー自ら、リング・スチュワード(係員)に参加確認を行わなければなりません。
19. ライブ・イベントでの音量の確認は、競技者のルーティン開始直前でも可能です。各イベントでスピーカーの設置場所が異なる場合があるので、犬の演技に関わる音量の確認は入念に行うこと。音量チェックの間、玩具や訓練補助用品(食べ物やご褒美以外)のリング内での使用は認められます。
20. 食べ物(ハンドラー及び犬双方の)、ご褒美、餌、訓練の補助用品は、ルーティン審査中のリング内では使用禁止。
21. ライブ・イベントでは、前の競技者が演技している間、次のハンドラーはウェイトング・サークルで待機すること。
22. 全リングを使ってルーティンの演技を行う。リング・スペースは、最低でも1800平方フィート(約167.4平方メートル?)の広さであり、1辺が最短約9m以上、最長約24m以内の四方形であること。ライブ及びビデオ・イベントもサイズは同じ。

23. イベント会場のスペースにおいて犬の安全確保のためのスペースがとれない問題がある場合は、リングのほかに休憩場所をもうけること。
24. ライブ・イベントで音響効果に不具合が生じた場合、WCFOは、競技者が公正な審査の下、完結したルーティン演技が行えるよう保証します。
25. ルーティンの開始、再開、終了は、リング・エリア内で行うこと。
26. リング・スペースの使用領域：体高が35cm以上の犬と参加の成人部門のハンドラーは、全リング・スペースの75%を使用すること。体高が35cm以下の小型犬と参加の成人部門のハンドラーと、ジュニア部門のハンドラーはリング・エリアの50%を使用する。
27. 演技を行う上で、犬の動きはすべて自然かつ安全であること。ハンドラーが犬を強制的に動かす、意図的に抑止するなどの動作は禁止します。
28. “ペア”そして“チーム”部門のハンドラーと犬は、ルーティン中、一緒に演技しているパートナーと入れ替わることができます。
29. 成人ビギナー・レベルの参加者、ジュニア部門の最初のレベル2の参加者、盲目あるいは聴覚障害の犬と参加するサッシー・シニアとハンディ・ダンディ部門の全レベルの参加者は、ルーティン中、リードの使用は自由とします。
31. リードの使用について選択することが認められているブレース、ペア、そしてチーム部門では、ルーティンにおいて、リードを使用するかしないかを決め、ハンドラー全員で統一すること。
31. オン・リードでの参加演技では、リードを落とした演技の割合が25%以上の場合、失格になることがあります。
32. オン・リード、オフ・リードでの演技についての審査基準は、リード使用参加者の特別規則“リードを落とす規定”を除いて他の部門と同じです。
33. ルーティンでオン・リードあるいはオフ・リードが認められている部門では、オン・リード、オフ・リードの全競技者が配列の統一感を競い合います。
34. ルーティンの競技時間(最短・最長)は、各部門のレベルによって決められています。(各部門レベルおよびレグとタイトルについてのガイドラインを参照) レグまたはタイトル資格獲得のために、ルーティンは必ず制限時間内に終えること。様々な音楽機器の記録速度や再生に対応するため15秒間の短縮、延長が認められる(得にビデオ・イベントで重要)
35. ルーティンの審査時間は、犬またはハンドラーが動き始めた瞬間から計測が始まります(音楽開始時ではない)。終了については、犬とハンドラーの両者の動きが止まった時点/ルーティンのエンディング・ポーズ時、あるいは延長の15秒が経過した時点のいずれか先に到達した時点で計測終了です。
36. クリエイティブなスポーツ故に、主観的審査も適用されます。
37. 観客の拍手や反響はすべてのイベントで歓迎します。ライブ・イベントでは、競技者や主催者が、演技中または演技終了後の拍手を観客に要請してはならない。
38. 観客は、入り口やフェンスに足をかけてすわらないこと。競技場入場門からは離れて着席。
39. リングに近い観客席の最前列に犬を連れてはいることはできません。最前列の客席では、ドッグ・フードや食べ物の所持を禁止。
40. リングへの物の投げ入れは、演技中、演技後も禁止
41. レグとタイトル取得の予選を通過するためには、ハンドラーと犬のチームは、技術点、芸術点ともに制定された最低平均得点を獲得しなければなりません。レベル説明とタイトル要件を参照。
42. 審査員は、すべてのレグとタイトル取得についてリボンを授与します。
43. レグおよびタイトルは、それらを取得した部門、スタイル、レベルでのみ授与されます。
44. WCFOは K9フリースタイルが、犬とハンドラー(複数)によるチーム・スポーツと考えています。全部門において、ハンドラーと犬は一体とみなし、審査、判定対象となり、すべてのレグおよびタイトルは、ハンドラーと一緒に犬にも適用されます。

45. レグおよびタイトルの獲得には、ハンドラーと犬が同じメンバーであること、そして、同じメンバーによる同部門、同スタイルの上位レベルへの挑戦が可能となります。もし、ハンドラーや犬のメンバーに変更があった場合、そのグループは適切な部門とレベルで、異なる別の新たなチームとして競い合わなければなりません。

例外：チーム部門では、あるハンドラーとその犬の損失時において新しいハンドラーと新しい犬が新たに参加する場合、元のハンドラーと犬と同等のレベル(同等のタイトルを獲得していること)であることを条件に認めることができます。一度 レグを獲得したチームは、タイトル獲得まで同じチームで競技に参加すること。

46. ライブ・イベントでは、参加部門終了後、競技者が自分で採点表を受け取ること。

47. ライブ・イベントでは、競技者や参加者が演技終了後、音楽のCD(カセットテープ)を自主回収すること。主催者は未回収の音楽媒体には責任を負えません。

48. タイトルを獲得したハンドラーと犬のチームは、即座に次のレベルに進級ができる。

例：翌日のBACK-TO-BACKイベントにレベルアップ(申請はBACK-TO-BACKイベントで可能)

49. タイトルを獲得したハンドラーと犬のチームが、その同じ部門のレベルに留まることができる期間は、最長75日間。獲得したタイトルと同じ部門、同レベルの競技で新たに得た得点は、進級時には反映されません。

50. タイトル保有期間75日後は、そのハンドラーと犬は同じ部門で次のレベルに必ず進級しなければならない。

51. タイトルを獲得したルーティンを封印するという規定はありませんが、新しいルーティンの技術革新と最高の優位性を表現するために、ルーティンの改良を奨励します。

52. 各タイトルのイベントでは、上位3位にメダル(首にかけられるリボン)が授与されます。

成人部門

- シングル部門/ HTMスタイル-各レベル:ビギナーA、ビギナーB、ノービス、インターメディアイト、アドバンス
- シングル部門/MFスタイル-各レベル: ビギナーA、ビギナーB、ノービス、インターメディアイト、アドバンス
- ブレース部門/ MFスタイル-各レベル:ビギナーA、ビギナーB、ノービス、インターメディアイト、アドバンス
- ペアー部門/ MFスタイル-各レベル:ビギナーA、ビギナーB、ノービス、インターメディアイト、アドバンス
- チーム部門/ MFスタイル-各レベル:ビギナーA、ビギナーB、ノービス、インターメディアイト、アドバンス
- サッシー・シニア部門/ MF スタイル-全レベル一斉
- ハンディ・ダンディ/MFスタイル-全レベル一斉

ジュニア部門

- シングル部門-クラスA/HTMスタイル-レベル1
- シングル部門-クラスA/MFスタイル-レベル1
- シングル部門-クラスB/HTMスタイル-全レベル一斉
- シングル部門-クラスB/MFスタイル-全レベル一斉
- ブレース部門/MFスタイル-各レベル:レベル1, 2, 3, そして4
- ペアー部門/MFスタイル-各レベル: レベル1, 2, 3, そして4
- チーム部門/MFスタイル-各レベル:レベル1, 2, 3, そして4

53. 同点の場合、芸術点の高い方を勝者とする。
54. 審判員は、リング内に入ることがありますがあくまでも採点のためであり位置づけをするためではありません。競技者は審判員が採点のために競技中にリング内に入ることを認識しておく必要があります。
55. 他の賞及びまたは賞品が寄贈・提供されることがあります。
56. レグとタイトル取得競技で予選落ちしたルーティンでも、プレイメント・メダルや他の賞を授与されることもあります。例外：1度だけ参加した部門レベルで「予選落ち」したハンドラーと犬のチームは、プレイメント・メダルは授与されません。しかし、そのチームが、他の賞や賞の資格対象となることがあります。
57. 規則違反で資格剥奪となったルーティンは、公式の得点が得られず、また公認の賞や賞品、あるいはプレイメント・メダルの対象にはなりません。採点表には、DQ(資格剥奪)と明記されます。
58. もし競技参加者がジャッジの採点について審査員と話し合いを希望する場合には、イベントの最終審査部門の審査が終わるまで待たなければなりません。
59. 審判は、競技者本人の採点に関して、その競技者と審議することはあっても、他の競技者の採点について審議することはありません。
60. ハンドラーは審判の判定を非難してはならない。
61. 参加者は必ず犬の排泄物の清掃をしてください。怠った場合は、途中退場となる場合があります。
62. 自らの責任において、参加犬とハンドラーは協議会に参加し、あらゆる事態に配慮すること。主催者はイベントでの犬や人間そして所有物の損失、損害または怪我に対する責任は負いかねます。
63. イベントが中止された場合、WCFOと主催者は、参加費から必要経費を支払う権利を留保します。
64. 悪天候または審査員の欠席の場合、主催者はイベントの様子を録画し、担当審査員に送ります。そして採点を行い該当者に賞品をタイムリーに発送します。あるいは、もし認定審査員が競技者として参加しており、双方が合意した場合には、その認定審査員の競技への出場を取り消し、審査員として参加し競技を続行する場合があります。
65. ライブ・イベントで審査されたルーティンのビデオ映像を、他のビデオ・イベントにエントリーすることはできません。

ハンドラーと犬の衣装について

ハンドラー:

1. ハンドラーの衣装は、音楽のテーマにあったものであること。音楽に特別なテーマがない場合は、ハンドラーの判断で衣装を決めます。
2. 衣装はこざっぱりしていて見苦しくないもの。装飾やスパンコールの使用は衣装にふさわしい程度に。
3. 衣装、音楽、演技は不快感がなく、過激なものや、性的アピール性のないものである事。この規定は特にジュニア部門においては重要な内容です。WCFOはこのスポーツを家族的に楽しめるものというイメージを大切にしているからです。これに違反した場合は、ルーティンの資格剥奪になることがあります。

*ジュニア: 追加規則と情報はジュニア用ガイドラインを参照

犬に関して

犬がつけて良い衣装は:

1. 装飾的でコーディネートされたネック・カラーまたはスカーフ
2. 装飾的でコーディネートされたバックル・カラー(スナップ または レギュラー)

3. チェーンではない平らで装飾的な/コーディネートされたマーティングール・カラー
4. 装飾していないハーネス(装飾品の後付けも禁止)
5. 装飾的でコーディネートされた足首バンドー 4本足のどの足につけても良いが、足首の3.7cmまでとし、足の低い部分につけること

脱毛した犬は、観客がその部分に集中しないように、装飾的でコーディネートされたヘアバンド、蝶ネクタイ、バレッタ(ヘアクリップ)の使用が認められます。

* 犬に関しては、上記に記述した装飾品以外の着用は認めません

犬が装着してはいけないもの

1. キラキラ光るもの、被毛の染色・脱色、マニキュア
2. 不自然なヘアスタイル、または剃り込み
3. プロング・チェーン、チョーク・チェーン、またスリッカラー(チェーンやその他の素材を含む)
4. スヌーズ
5. ヘッド・ハルター
6. タブ/ 練習用タブ

* 上記の規則に違反した場合はルーティンの資格を剥奪されることがあります。

小道具とそのほかのアイテム

- 1.小道具(支柱)は、固定されているものか、動かせるもの。
- 2.小道具は、犬あるいはハンドラーが運べるもの、取りに行くことができるもの。
- 3.ルーティンのテーマに沿う限り、小道具を投げてすぐにハンドラーまたは犬が取りにいたりしても良いが、モチベーターとして使うことは認められません。もしジャッジがこの行為についてモチベーターとして使用したと評価された場合にはその都度、技術得点より、1から5ポイントの原点となります。
- 4.小道具は、ルーティンの中で不可欠な要素で、犬とハンドラーのチームによって使用されること。違反は総技術点から1.0ポイント、総芸術点から1ポイント減点とします。
- 5.ライブ・イベントにおいて、小道具の設置や取り外しの割り当て時間は60秒とし、ハンドラーだけが行うこと。違反は総技術点から1.0ポイント、総芸術点から1.0ポイント減点。ビデオ・イベントにおいては、これらの時間制限は設けられません。
- 6.競技部門において、小道具としての人間や動物の参加を禁ずる。これに違反した場合は、ルーティンの資格を剥奪する。
- 7.小道具や他のアイテムを犬やハンドラーの動きの補助として使用してはいけません。リング・ゲートやフェンス、その他のアイテムも、ルーティン中、動きの補助としての使用を禁じます。
- 8.犬のおもちゃやタッチスティックなどのトレーニング用具、テニスボールなどを小道具として用いてはならない。これらの使用はルーティンの資格剥奪となる場合があります。ルーティン中に小道具や他のアイテムを使用するとき、犬の振る舞いや様子に著しい変化が現れないこと。しかし、犬とハンドラーが一体

となった動きのある表現をする際に、犬の目や頭が小道具などの動きを追う場合には、ペナルティーを科せられることはありません。

その他の減点対象:

1. ルーティン中の過度の話し掛けは、芸術点(犬とハンドラーの活気、姿勢、集中力と一体感)から1.0～3.0ポイント(程度による)減点。
2. ルーティン中、過度に犬がほえた場合、芸術点(観客に対するアピール度)から1.0～3.0ポイント(程度による)減点
3. ルーティンの半分以下の時間内で、犬を身体的に操作した場合(カラーをわし掴みにする、リードが張る、押す、引っ張る、叩く、押さえ込む、突付く行為など)、それぞれの行為の都度、芸術点(犬とハンドラーの活気、姿勢、集中力と一体感)、技術点(動きに対する正確さ)共から0.3ポイントずつ減点

失格: ルーティンが失格となる行為

1. リング内での排泄
2. リングから離れる、逸走(ルーティン中の犬および/又はハンドラーが対象)
3. リング内での、食べ物、ご褒美、餌、訓練道具
4. 小道具やアイテムの使用や提示により、犬の動きや態度に著しい変化があった場合
5. ルーティン中にハンドラーと犬以外の人や犬がリング内に入った場合。
6. 犬の服装や装飾に関する違反
7. 衣装、音楽、ルーティンで不快感を与える、また性的アピールを表現した場合
8. ルーティン競技時間が極端に長いまたは極端に短い場合
9. オン・リードの参加で、ルーティンの25%以上リードを外した場合
10. 犬、審判、審査員、リング係員に対する暴力行為
11. ルーティン時間の半分以上で、犬を身体的に操作した場合(カラーをわし掴みにする、リードを締める、押す、引っ張る、叩く、押さえ込む、突付く行為など)
12. ビデオ・コンテストでの編集された演技映像の使用

ビデオ・イベントでの競技規約とガイドライン

全選手権の競技者ガイドラインに加えて、下記の規約とガイドラインはビデオ選手権の参加者に適応されます。

ビデオ・イベントは、ハンドラーも犬も国籍を問わない世界選手権です。どの国からでもWCFOのメンバーと彼らの犬たちは参加できます。

毎年春、夏、秋、冬と4シーズンごとにビデオ協議会が開催されます。

ビデオ競技会イベントの審査は、主審1名と副審3名で行います。必要に応じて、審査委員会は審査員の数を調整したり、競技会において2つの審査員団で行われるように分けたりすることもあります。

生後6ヶ月以上の純血種およびミックスブリードの犬(シーズン期の雌犬を含む)がビデオ・イベントに参加できます。

参加料、採点方法、レベルのガイドライン、レグおよびタイトルについての情報は、ライブ・イベントと同じです。

レグおよびタイトル取得の一位から三位に授与される資格認定リボン及びメダルは、ライブ・イベントと同じです。

Attila and Fly Hi技術部門のトロフィーは、各ビデオ競技会で技術点が最も高いルーティンに対して授与されます。

Attila and Fly Hi芸術部門のトロフィーは、各ビデオ競技会で芸術点が最も高いルーティンに対して授与されます。

その他の賞が、贈呈、発表、または授与されることもあります。

ビデオ競技会の参加パッケージ(下記参照)は、WCFO 事務局宛てに、締切日の夜中 12 時までには必着のこと。

ビデオ競技会の締切日は毎年下記のとおりです。

シーズン・ビデオ競技会

- 冬大会—毎年 3 月 31 日
- 春大会—毎年 6 月 30 日
- 夏大会—毎年 9 月 30 日
- 秋大会—毎年 12 月 31 日

ハンドラーは郵送期間が地域により異なるため必ず締め切りまでに届くように確認して発送すること。到着が遅れた場合は受け付けません。期限に遅れた場合は、次回のビデオ・イベントまで保留することができます。

ライブ/ビデオ参加申込書はビデオ・イベント競技者同意書と名誉声明と一緒に、もれがないよう明記の上、サインをしてください。

ビデオ競技会のビデオ・スクリーンは、黒インクで分かりやすくはっきりと記入すること。ビデオ・スクリーンは DVD で作成されたものでもよい。必要事項がすべて網羅されていること。

ライブ&ビデオ参加申込書とビデオ・スクリーンの“イベント名”及び“イベント日”の空欄には、参加する競技会の時季と申込み締切日を記入してください。例：“春大会”“2006 年 6 月 30 日”

屋内、屋外などパフォーマンスの開催地は問いません。(山、森、学校、訓練場、倉庫、公園、広場など)パフォーマンス用のリングサイズエリアは、旗、コーン、ポット(鉢)、棒、ポールなどで明確に印をつけてリングの外輪を提示すること。(ライブとビデオ選手権のリングサイズに従う) 測定されたリングのサイズがわかりやすく示されていることが望ましいです。

録画時の画質は、ビデオ競技会においてとても重要なポイントなので、ビデオテープが最高品質の媒体かどうか確認すること。(媒体は新品を奨励)

演技が正しく審査されるために;

エントリーごとに完成したビデオ録画は、下記の順序に従って停止や一時停止をすることなく連続的に撮影を行ってください。

- 1) ビデオ競技会のビデオ・スクリーンを、5秒～最長7秒間撮影。口頭での解説は、参加部門と、ハンドラーと犬の名前そして使用する音楽名のみです。
- 2) リング・エリア全体像をリング・サイズと境界設定を提示しながら、5秒～最長7秒間流し撮り。口頭ではリング・サイズの解説のみ(“30' x 60'”, “40' x 50'”, など)
- 3) ハンドラーの衣装や装飾(前方、後方、横から)と犬の衣装(前方、後方、横から)を、リングの外で、5秒～最長7秒間撮影。口頭での解説やコメントは禁止。
- 4) ハンドラーと犬が最初から最後まですべてのルーティンを演技していること。撮影は、最初のポーズから始まり、ルーティンの終わりを示す最後のポーズ後5秒間録画。
- 5) リング内の小道具の設置および撤去については撮影不要。ビデオ競技会においては、これらの時間制限が設けられていないからです。

* 全体を分かりやすくそして手短な“流し撮り”になっているかを確認してください。各々のアイテムを、明確に、そして速く、審判が理解し適切に審査するためです。

ルーティンのパフォーマンスに合わせて音楽を流すこと。音楽は、全ルーティンのビデオ録画を通して、明らかに聞き取れるように再生してください。場合によっては、音楽プレーヤーはビデオカメラのすぐ横に設置してください。音楽は、どのような外界の雑音(例えば風、雨、交通騒音やその他の周囲雑音)でもかき消すくらいははっきりとしていて、十分な大きさで再生されていること。屋内の会場、特に高い天井の建物内では、音の反響(エコー)を最小限抑えること。

ビデオ競技会の演技では、**全ハンドラーと犬**が適切な審査及び採点対象となります。ルーティンの映像は、すべてのハンドラーと犬たちが一単位として、全体のパフォーマンスを通して映し出すこと。演技中のメンバーをわかりやすく映し出すため、ビデオカメラは安定した少し高いところに設置してください。(三脚の使用が良い) 照明は、常に全メンバーを映し出すため十分明るくなければなりません。全ルーティンを通して、パフォーマンスをはっきり見ることができるよう焦点を定めておきましょう。

競技参加者には、ルーティンの演技を通してビデオカメラを上手に操作し撮影できる人を使うことを強く推奨します。

撮影者はリングの周りを動きながら、パフォーマンスしているメンバーを絶えず追いかけて撮影して下さい。遠近両方のすべての動きをできるだけ詳細に映し出すため、必要に応じてクローズアップやズームアウトを使い分けてください。

完成したオリジナルのビデオ映像テープ又はDVDは、他の参加情報と一緒にコピーも含めて2本用意してください。

DVDを推奨しますが、ビデオテープでも受け付けます。

NTSC、PAL方式のDVD/ビデオテープを受け付けますが、NTSC方式がより好ましいです。

PAL方式のDVD/ビデオテープは、WCFOに到着後審査前に、NTSC方式に変換する必要があるため画質が落ちることがあります。

再度確認—画質はとても重要な要素です。全競技のマスター記録テープが最高品質の事を確認するために、ビデオテープは2本とも新品のビデオテープを使用してください。

注釈: DVD/ビデオテープが使用不可能な状態でも、競技を延期することはできないので、必ず2本のビデオテープを提出してください。郵送途中に1本のビデオテープがなんらかの理由で損傷して再生できない場合、2本目ビデオテープを使用するためです。

編集した DVD/ビデオテープは失格となります。

2本の DVD/ビデオテープには下記の項目を記載したラベルを貼ること。

- ・ハンドラーと犬の名前
- ・参加部門
- ・“PAL”あるいは“NTSC”の区別
(ビデオテープのフォーマット方式をWCFOに通知するため)

2本のDVD/テープのうち、どちらかがより良い品質である場合は、ハンドラーはそのテープのラベルに「ベスト・コピー」等と、区別できるように記入してください。このDVD/テープを優先して競技会の全参加作品のマスタービデオとして登録し審査に使用します。

上記以外の情報は、DVD/テープのラベルに記入しないでください。

競技ハンドラー、競技グループまたは競技クラブは、1つのDVD/ビデオテープに、複数のビデオ・イベント用映像を収録しエントリーをすることができます。DVD/テープに収録された各々のエントリーは、ガイドラインに沿って、上記の1~5番の必須項目を順番に撮影(録画)すること。
完成したビデオテープには、下記のとおり、“部門”“スタイル部門”“レベル”の順序ですべてのエントリーが録画されていること。

ジュニア・シングル HTM: レベル 1A, 1B, 2, 3, 4, CH、

ジュニア・シングル MF: レベル 1A, 1B, 2, 3, 4, CH

ジュニア・ブレース MF: レベル 1A, 1B, 2, 3, 4

ジュニア・ペア MF: レベル 1A, 1B, 2, 3, 4

ジュニア・チーム MF: レベル 1A, 1B, 2, 3, 4

成人・シングル HTM: ビギナーA、ビギナーB、初心者、中級者、上級者、チャンピオン

成人・シングル MF: ビギナーA、ビギナーB、初心者、中級者、上級者、チャンピオン

成人・ブレース MF: ビギナーA、ビギナーB、初心者、中級者、上級者

成人・ペアー MF: ビギナーA、ビギナーB、初心者、中級者、上級者、チャンピオン

成人・チーム MF: ビギナーA、ビギナーB、初心者、中級者、上級者

成人・サッシー・シニア MF: ビギナーA、ビギナーB、初心者、中級者、上級者

成人・ハンディ・ダンディ MF: ビギナーA、ビギナーB、初心者、中級者、上級者

ビデオで複数エントリーの場合、始まりまたは終わりで映像がカットされないように、各エントリーの間には必ず10秒程度の長い空白を入れてください(写真やサイン・バナーも不可)。

DVDではそれぞれのルーティンについて、タイトルや部門ごとに録画することが望まれます。

すべてのエントリーが収録されたもう1つのDVD/ビデオテープも一緒に提出すること(合計2本のビデオテープ)。DVD/ビデオテープに記録された全エントリーの内容は収録順序に従ってリストを作成し、エントリー・パッケージに同封するか、DVD/テープの回りに巻きつけておくこと。他のすべてのエントリー情報と諸経費の支払書を一緒に郵送してください。

郵送されたDVD/テープが正常に録画されていないまたは、審査には不十分な画質と判断した場合、競技への参加を受け付けられないことがあります。

ビデオ競技会のエントリー・パッケージに、以下のものすべてを同封してください

- プログラム情報を含む完成したライブ/ビデオ・エントリー申込書、署名と日付が記された写真そして署名と日付を記入した同意書
- ビデオ競技会のために完成されたオリジナルのビデオ・スクリーン
- 同一の録画内容のDVD/ビデオテープを2本
- 参加費

上記に記した各シーズンのビデオ競技会用エントリー・パッケージは、ジュニア特別ビデオ競技会用と同様に、下記宛てに郵送してください。

送付先: **Arlene M. Rauschl**

N5143 Kannisto Road, Rumely, M I 49826

ハンドラーはオリジナルの録画媒体を保管して下さい。

提出したDVD/ビデオテープは返却しません。

ハンドラーにはe-mail、郵便あるいはウェブサイトでの成績発表によって採点の報告を行います。

競技会終了時に各々の競技者が受け取るもの。

- 全競技会のビデオ撮影のDVDコピー。要望に応じてDVDの代用としてビデオテープのコピー。
- 審判のコメントが書かれたスコアシート
- 資格取得のリボン、メダル、賞、賞品

*1つのイベントで審査されたルーティンのビデオ映像は、その後他のイベントでの審査はできません。

毎年、特別企画WCFOビデオ競技会が開催されます。

- 1) 国際「プロ・スター」競技大会(ライブの国際プロ・スター競技大会と共催)が毎年開催されます。ガイドライン、申込期日などについては各年度のWCFO. INC.の国際イベントについての告知のなかで紹介されます。

K9ドレサージュについてのビデオイベントインフォメーションは、「その他のWCFOイベントインフォメーション」を参照のこと。

成人部門レベルの説明

以下のレベル説明は、競技の各々の成人レベルと、WCFOのライブ・ビデオ選手権大会でレグとタイトル資格取得のために期待される演技のガイドラインを解説しています。

演技中にハンドラーと犬の一体感を表現している想像的で芸術的なルーティンを創作する自由を保つため、各々のレベルにおいて特定の動きを要求することはありません。

成人部門

全成人部門は(シングル、ブレース、ペアー、チーム、サッシー・シニア、ハンディ・ダンディ)

それぞれの部門において4レベルの競技。

レベル1

ビギナーズ A オン または オフ・リード(HTM または MF)

WCFO のタイトルや、WCFO の HTM または MF の技能タイトルを獲得していない、初参加のハンドラーと犬対象。もし、犬またはハンドラーのいずれかが以前に WCFO のタイトル、または WCFO HTM または MF の有効タイトルを取得している場合には、そのチームはビギナーズB部門に参加のこと。

演技は、オン・リードあるいはオフ・リードでのルーティンを選択可(ブレース、複数ペアー、そしてチーム部門にエントリーした場合は、全メンバーが、オン・リードかオフ・リードで統一されていること)。チームはビギナーBのタイトルを獲得後、初心者部門(オフ・リードのみ: 盲目または聴覚障害の犬のためのサッシー・シニアとハンディ・ダンディ部門は除く)に挑戦する。

ビギナーズ B オン・リード、オフ・リード(HTM または MF)

WCFO のタイトルや、WCFO の HTM または MF の技能タイトルを獲得している、あるいは以前WCFOのジュニア部門に参加経験のある成人の競技者と犬。オン・リードあるいはオフ・リードでのルーティンを選択可(ブレース、ペアーとチーム部門にエントリーした全メンバーが、オン・リードかオフ・リードで統一されていること)。チームはビギナーのタイトルを獲得後、初心者部門(オフ・リードのみ: 盲目または聴覚障害の犬のためのサッシー・シニアとハンディ・ダンディ部門は除く)に挑戦

ビギナーA/B 資格取得に関する説明(採点法)

技術点

1. 内容(動きの表現量、技の豊富さ)—主要な動きと連携する動きの量と種類が基準を満たしていること(65%)。犬の演技は、ハンドラーの少なくとも2つの側面で行う。犬とハンドラーの動きのバランスが65%であること。(つまり、67%/33%の割合)
2. 動きに対する正確さ—すべての動きに65%の正確さが要求されます。いくらかの指附はリマークされるでしょうが、犬が初回または2回目の合図に対して反応できるようにします。ルーティンを通してハンドラーと犬の動きは美しく、同調していることが好ましい。
3. 動きの流れに対する充実度—ルーティンの流れがかなり充実していること(65%)。メインの動きに対してハンドラーと犬の多少のセット・アップと、経過的に移行する動きが滑らかであること。
4. 難易度の高いルーティン— 動作のほとんどにおいて、シンプルなステップ、動きとボディ・ポジションが使われている。複雑な動きの表現はあまり使わずに、基本的にはルーティンのテンポは一定でありそして65%はコントロールされた内容。
5. 音楽に合ったステップ - ハンドラーと犬は、音楽のビートとリズムに合わせて、65%は正確に(正しく)演技を行うこと。

芸術点 (AI)

1. 活気、姿勢、集中力と一体感(絆)—犬とハンドラーの生き活きとした生命力、気迫のある演技。ルーティンを通して65%の注意力、集中力と迅速さを表現。犬とハンドラーの姿勢や結束力は65%(good)。
2. 振り付けの内容と独創性・規定演技のレイアウトルーティンの振付けが、使用するリング・スペース内で65%(fair)の創造性とバランスに優れ編成されていること。
3. リング・スペースの75%が使用されているかどうか(ジュニアと小型犬は50%を使用)—ルーティンを通して、犬とハンドラーが75%あるいは50%のスペースを、全体的にバランスよく使えているか。
4. 音楽の解釈、音楽と規定演技の統一性—ルーティン演技が音楽とテーマに良く調和していること。
5. 音楽と規定演技に対するコスチュームの統一性—ハンドラーと犬の衣装が音楽、そのテーマ、ルーティンに調和しうまく盛りあげているか。
6. 観客に対するアピール度—観客がルーティンを楽しく観賞しているか。

ビギナー資格取得に関する情報

ビギナーレベルでタイトルを獲得するために、ハンドラーと犬は、技術点と芸術点において規定の回数内(legs/shows)で、以下に記した最小限の平均点をこえなければなりません。ルーティンの演技時間は、以下の規定時間内とする(様々な音楽機器の記録速度や再生に対応するため15秒間の短縮、延長が認められる)。タイトルの略語は以下の通り

成人 シングル・ビギナー A or B HTM or MF:平均点 7.3、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-FD/HTM or W-FD/MF

成人 プレース ビギナー A or B MF:平均点 7.3、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-BFD/MF

成人 ペア ビギナー A or B MF:平均点 7.3、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-PFD/MF

成人 チーム ビギナー A or B MF:平均点 7.3、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-TFD/MF

成人 サッシーシニア ビギナー A or B MF:平均点 6.7、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-SSFD/MF

成人 ハンディ・ダンディ ビギナー A or B MF:平均点 6.0、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-HDFD/MF

レベル2

ノービス(HTM or MF)

参加したスタイル・カテゴリー(HTM or MF)において WCFO のビギナー・タイトルや、技能タイトルを獲得しているハンドラーと犬。オフ・リードのみの参加: 盲目または聴覚障害の犬のためのサッシー・シニアとハンディ・ダンディ部門は除く。ノービスのタイトル獲得後、中級部門に挑戦。

ノービス資格取得に関する説明(採点法)

技術点

1. 内容(動きの表現量、技の豊富さ)ー主要な動きと移行する動きの量と種類が、適度(75%)であること。犬の演技は、ハンドラーの少なくとも3サイドで行うこと。ルーティンの充実度と、ハンドラー対犬の動きの基本的なバランスは75%であること。(つまり62%/38%の割合)
2. 動きに対する正確さーすべての動きにかなりの正確さ(75% Nice)が要求されます。僅かであれば人目を引く指符でもかまわないが、犬はなるべく初回または2回目の合図に対してうまく反応できるように。ルーティンを通して、ハンドラーと犬の動きは、同調していることが好ましい。
3. 流れに対する充実度ールーティンの流れがかなり充実していること(75%)。メインの動きに対してハンドラーと犬の限られた数のセット・アップと、経過的に移行する動きが滑らかであること。
4. 高難易度のルーティンーいくつかの複雑なステップや動きと、異なるボディ・ポジションを採用すること。複雑で革新的な動きを表現し、ルーティン中のペース変更は可能。ルーティンをうまく制御すること(75%)。
5. 音楽に合ったステップーハンドラーと犬は、音楽のビートとリズム、テーマに合わせて、かなり正確に(75%)演技を行うこと。

芸術点

1. 活気、姿勢、集中力と一体感(絆)ー犬とハンドラーの生き活きとした生命力、気迫のある演技。ルーティンを通して双方の注意力、集中力と迅速さを表現する(75%)。犬とハンドラーの交流や結束力(75%)は高く評価されます。
2. 振り付けの内容と独創性・規定演技のレイアウトールーティンの振り付けが使用するリング・スペース内で創造性とバランスに優れ(75%)うまく編成されていること。
3. リング・スペースの75%が使用されているかどうか(ジュニアと小型犬は50%を使用)ールーティンを通して、犬とハンドラーが75%あるいは50%のスペースを、全体的によく使っているか
4. 音楽の解釈、音楽と規定演技の統一性ールーティンが音楽とテーマによく調和していること。
5. 音楽と規定演技に対するコスチュームの統一性ーハンドラーと犬の衣装が音楽、ルーティンをうまく盛りあげているか。
6. 観客に対するアピール度ー観客がルーティンを楽しく観賞しているか。

ノービス資格取得に関する情報

初参加のレベルでタイトルを獲得するために、ハンドラーと犬は、技術点と芸術点において規定の回数内 (legs/shows) で、以下に記した最小限の平均点をこえなければなりません。ルーティンの演技時間は、以下の規定時間内とする (様々な音楽機器の記録速度や再生に対応するため 15 秒間の短縮、延長が認められる)。タイトルの略語は以下の通り。

成人 シングル ノービス HTM or MF:平均点 8.0、演技 3 回、1 分 45 秒～2 分 30 秒

タイトル略語—W-FDX/HTM or W-FDX/MF

成人 プレース ノービス MF:平均点 8.0、演技 3 回、1 分 45 秒～2 分 30 秒

タイトル略語—W-BFDX/MF

成人 ペア ノービス MF:平均点 8.0、演技 3 回、1 分 45 秒～2 分 30 秒

タイトル略語—W-PFDX/MF

成人 チームノービス MF:平均点 8.0、演技 3 回、1 分 45 秒～2 分 30 秒

タイトル略語—TFDX/MF

成人 サッシ・シニア ノービス MF:平均点 7.5、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-SSFDX/MF

成人 ハンディ・ダンディ ノービス MF:平均点 7.2、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-HDFDX/MF

レベル3

インターメディアイト (HTM or MF)

参加したスタイル・カテゴリー (HTM or MF) において WCFO のノービス部門でのタイトルや、技能タイトルを獲得しているハンドラーと犬。参加資格のある犬は、参加者が所有している犬または、家族と一緒に共同で所有している犬。オフ・リードのみの参加: 盲目または聴覚障害の犬のためのサッシ・シニアとハンディ・ダンディ部門は除く。中級のタイトル獲得後、上級部門に挑戦。

インターメディアイト資格取得に関する説明 (採点法)

技術点

1. 内容 (動きの表現量、技の豊富さ) — 主要な動きと移行する動きの量と種類が豊富。犬の演技は、ハンドラーの少なくとも4サイドで行うこと。ルーティンの充実度と、ハンドラー対犬の動きの基本的なバランス (90%) は、高く評価。(つまり55%/45%の割合)
2. 動きに対する正確さ—ほとんどの動きに90% (great) の正確さが要求されます。人目を引く合図はまれであること。犬はすべての合図に効果的に反応すること、そしてルーティンを通して、ハンドラーと犬の動きが同調していることが要求されます。

3. 流れに対する充実度—ルーティンの流れが充実していること(90%)。メインの動きに対してハンドラーと犬のセット・アップはほとんどなく、経過的に移行する動きが滑らかであること。
4. 高難易度のルーティン—複雑なステップ、動きと異なるボディ・ポジションを採用すること。ルーティン中のペース変更は数回取り入れる。大半の動きで複雑かつ革新的な動きを表現し、ルーティンをうまく制御していること。
5. 音楽に合ったステップ—ハンドラーと犬は、音楽のビートとリズム、テーマに合わせて、正確に(90%)演技を行うこと。

芸術点

1. 活気、姿勢、集中力と一体感(結束力絆)—犬とハンドラーの生き生きとした生命力、気迫のある演技。双方がルーティンを通して(90%)注意力、集中力と迅速さを表現する。犬とハンドラーの交流や結束力(90%great)は高く評価。
2. 振り付けの内容と独創性—ルーティンのレイアウト—使用するリング・スペース内でルーティンの振り付けが、質が高く、創造性とバランスに優れ(90%great)うまく編成されていること。
3. リング・スペースの75%が使用されているかどうか(ジュニアと小型犬は50%を使用)—ルーティンを通して、犬とハンドラーが75%あるいは50%のスペースを、全体的によく使っているか。
4. 音楽の解釈、音楽と規定演技の統一性—ルーティンが音楽とテーマによく調和していること。
5. 音楽とルーティンに対するコスチュームの統一性—ハンドラーと犬の衣装が音楽、ルーティンをうまく盛りあげているか。
6. 観客に対するアピール度—観客がルーティンを理解し、喜び、とても楽しく観賞しているか。

インターメディエイト資格取得に関する情報

中級レベルでタイトルを獲得するために、ハンドラーと犬は、技術点と芸術点において規定の回数内(legs/shows)で、以下に記した最小限の平均点をこえなければなりません。ルーティンの演技時間は、以下の規定時間内とする(様々な音楽機器の記録速度や再生に対応するため15秒間の短縮、延長が認められる)。タイトルの略語は以下の通り。

成人 シングル インターメディエイト HTM or MF:平均点 8.5、演技 3 回、2 分～2 分 45 秒

タイトル略語—W-FDM/HTM or W-FDM/MF

成人 プレース インターメディエイト MF:平均点 8.5、演技 3 回、2 分～2 分 45 秒

タイトル略語—W-BFDM/MF

成人 パー インターメディエイト MF:平均点 8.5、演技 3 回、2 分～2 分 45 秒

タイトル略語—W-PFDM/MF

成人 チーム インターメディアイト MF:平均点 8.5、演技 3 回、2 分～2 分 45 秒

タイトル略語—W-TFDM/MF

成人 サッシ・シニア インターメディアイト MF:平均点 8.2、演技 3 回、1 分 45 秒～2 分 30 秒

タイトル略語—W-SSFDM/MF

成人 ハンディ・ダンディ インターメディアイト MF:平均点 8.0、演技 3 回、1 分 45 秒～2 分 30 秒

タイトル略語—W-HDFDM/MF

レベル 4

アドバンス(HTM or MF)

参加したスタイル・カテゴリー(HTM or MF)において WCFO のインターメディアイトのタイトルや、技能タイトルを獲得しているハンドラーと犬。オフ・リードのみの参加: 盲目または聴覚障害の犬のためのサッシ・シニアとハンディ・ダンディ部門は除く。この部門に参加しているチームは、アドバンス・タイトル獲得にむけて競技に取り組むこと。

アドバンス資格取得に関する説明(採点法)

技術点

1. 内容(動きの表現量、技の豊富さ) — 主要な動きと移行する動きの量と種類が多いこと。犬の演技は、ハンドラーの周り360度で、4サイド以上で演技を行う。ルーティンの充実度とハンドラー対犬の動きのバランスが同等(95%)で、しかも演技が連続的に行われていること。(つまり52%/48%の割合)
2. 動きに対する正確さ—すべての動きに優れた(95%)正確さが要求される。人目を引く合図は使わない。犬はハンドラーの合図に常に正確に反応する。犬とハンドラーはルーティンを通して「一体」となり、安定して同調した動きであること。
3. 流れに対する充実度—ルーティンの流れが充実していること(90%)。メインの動きに対してハンドラーと犬のセット・アップは行わず、経過的に移行する動きが一定して滑らかであること。
4. 高難易度のルーティン—全てにおいて込み入ったステップ、複雑な動きと、異なるボディ・ポジションを採用すること。斬新で革新的な動きは、ルーティンで他の動きと一体化されていること。多くのペース変更が必要。完全なコントロールがルーティンを通して要求されます。
5. 音楽に合ったステップ—ハンドラーと犬は、音楽のビートとリズム、テーマに合わせて、正確に(95%)演技を行うこと。

芸術点

1. 活気、姿勢、集中力と一体感(結束力絆)ー犬とハンドラーの生き生きとした生命力、気迫のある演技。双方の注意力、集中力と迅速さ(95%)を表現する。ルーティンのすべての側面に対して、犬とハンドラーの交流や完璧で明確な一体感(95%)は高く評価。
2. 振り付けの内容と独創性・ルーティンのレイアウトー使用するリング・スペース内でルーティンの振り付けが、広範囲にわたって質が高く、創造性とバランスに優れ(95%)うまく編成されている。
3. リング・スペースの75%が使用されているかどうか(ジュニアと小型犬は50%を使用)ールーティンを通して、犬とハンドラーが75%あるいは50%のスペースを、全体的によく使っているか。
4. 音楽の解釈、音楽と規定演技の統一性ールーティンが音楽とテーマが調和していること。
5. 音楽とルーティンに対するコスチュームの統一性ーハンドラーと犬の衣装が音楽、ルーティンを確実に盛りあげているか。
6. 観客に対するアピール度ー観客がルーティンを理解し、喜び、非常に楽しく観賞しているか。

アドバンス資格取得に関する情報

アドバンスレベルでタイトルを獲得するために、ハンドラーと犬は、技術点と芸術点において規定の回数内(legs/shows)で、以下に記した最小限の平均点をこえなければなりません。ルーティンの演技時間は、以下の規定時間内とする(様々な音楽機器の記録速度や再生に対応するため15秒間の短縮、延長が認められる)。タイトルの略語は以下の通り。

成人 シングル アドバンス HTM or MF:平均点 9.2、演技 3 回、2 分 15 秒～3 分 15 秒

タイトル略語—W-CHFD/HTM or W-CHFD/MF

成人 プレース アドバンス MF:平均点 9.2、演技 3 回、2 分 15 秒～3 分 15 秒

タイトル略語—W-BCHFD/MF

成人 ペア アドバンス MF:平均点 9.2、演技 3 回、2 分 15 秒～3 分 15 秒

タイトル略語—W-PCHFD/MF

成人 チーム アドバンス MF:平均点 9.2、演技 3 回、2 分 15 秒～3 分 15 秒

タイトル略語—W-TCHFD/MF

成人 サッシーシニア アドバンス MF:平均点 9.0、演技 3 回、1 分 45 秒～2 分 30 秒

タイトル略語—W-SSCHFD/MF

レベル5

チャンピオン・パーフェクト・ダンス・パートナーズ (HTM or MF) (MF はシングルとペアーのみ)

このレベルの犬とハンドラーのチームはWCFOのHTMまたはMF分野においてチャンピオンタイトルまたは技能タイトルを有するものであること。海外からのチームはそれぞれの国においてアドバンスまたはもっとも高レベルの分野の大会で1位から3位までのいずれか3つの賞を獲得していること。(注:WCFOチャンピオン・レベルへの参加者は、その演技のなかで使用できる動きなどについてWCFOのHTMおよびMFのルールを確認すること。)

演技はリードなしでおこなう。(ただし、視聴覚障害のある犬によるサッシー・シニア、ハンディ・ダンディはこの限りではない。)このレベルの参加チームはチャンピオン・パーフェクト・ダンス・パートナー・タイトル取得を目指して競技する。

このレベルの競技参加者は、WCFOの大会において授与される高度技術賞、また高度芸術賞の対象とはならない。

このレベル参加者については、技術得点、芸術得点で満点の10.0ポイントを獲得したものに対して、チャンピオン・パーフェクト・ダンス・パートナー部門の特別賞が授与される。

W-Ch.PDP 資格取得に関する説明(採点法)

技術点

1. 内容(動きの表現量、技の豊富さ) — 主要な動きと移行する動きの量と種類が多いこと。(全体の95%、よどみない演技であること。) 犬の演技は、ハンドラーの周り360度で、4サイド以上で演技を行う。ルーティンの充実度とハンドラー対犬の動きのバランスがとれており(95%)で、しかも演技が連続的に行われていること。(つまり52%/48%の割合)
2. 動きに対する正確さ — すべての動きに優れた(95%)正確さが要求される。人目を引く合図は使わない。犬はハンドラーの合図に常に正確に反応する。犬とハンドラーはルーティンを通して「一体」となり、安定して同調した動きであること。
3. 流れに対する充実度 — ルーティンの流れが充実していること(90%)。メインの動きに対してハンドラーと犬のセット・アップは行わず、経過的に移行する動きが一定して滑らかであること。
4. 高難易度のルーティン — 演技全般をとおして斬新で革新的な動きを取り入れながら、込み入ったステップ、複雑な動きと、異なるボディ・ポジションを採用し、一体化されたものであること。多くのペース変更が必要。95%のコントロールがルーティンを通して要求されます。
5. 音楽に合ったステップ — ハンドラーと犬は、音楽のビートとリズム、テーマに合わせて、95%(優秀)は正確に演技を行うこと。

芸術点

1. 活気、姿勢、集中力と一体感(結束力、絆)ー犬とハンドラーの生き生きとした生命力、気迫のある演技で、双方の注意力、集中力と迅速さ(95%)を表現する。ルーティンの全般をとおしての、犬とハンドラーの交流や完璧で明確な一体感(95%)は高く評価。
2. 振り付けの内容と独創性・ルーティンのレイアウトー使用するリング・スペース内でルーティンの振り付けが、広範囲にわたって質が高く、創造性とバランスに優れ(95%)うまく編成されている。
3. リング・スペースの75%が使用されているかどうか(小型犬は50%を使用)ールーティンを通して、犬とハンドラーが75%あるいは50%のスペースを、全体的によく使えているか。
4. 音楽の解釈、音楽と規定演技の統一性ールーティンが音楽とテーマに調和していること。
5. 音楽とルーティンに対するコスチュームの統一性ーハンドラーと犬の衣装が音楽、ルーティンを確実に盛りあげているか。
6. 観客に対するアピール度ー観客がルーティンを理解し、喜び、非常に楽しく観賞しているか。

チャンピオン資格取得に関する情報

チャンピオン・レベルでタイトルを獲得するために、ハンドラーと犬は、技術点と芸術点において、以下に記した規定の回数内 (leg/shows) 最小限の平均点をこえなければなりません。ルーティンの演技時間は、以下の規定時間内とする(様々な音楽機器の記録速度や再生に対応するため 15 秒間の短縮、延長が認められる)。タイトルの略語は以下の通り。

成人 シングル アドバンス HTM or MF:平均点 9.5、演技 5 回、3 分～4 分

タイトル略語—Ch.PDP/HTM or W-Ch.PDP/MF

成人 ペア アドバンス MF:平均点 9.5、演技 5 回、3 分～4 分

タイトル略語—W-PCh.PDP.FD/MF

ジュニア競技者のガイドライン

(詳細および他の競技者用ガイドラインへの補足)

WCFO は、このスポーツ競技における将来の担い手として、ジュニアの競技会参加を奨励しています。ジュニアの参加者達は、将来は WCFO 世界競技会チームのメンバーになります。このガイドラインは、世界的などのようなスポーツにおいても、ジュニア・アスリートに期待されることに基づいています。我々は、参加ジュニアとその親や保護者に対して、今日他の世界的なスポーツにおいても見られるように、最高レベルの競技、最高レベルのモラル、スポーツマンシップ性を有して、WCFO のケーナイン・フリースタイルに参加して頂きたいと願っています。

ジュニア競技者の年齢制限

ジュニア競技者は年齢が 18 歳以下であること。参加者の年齢については、参加する競技が行われる年の 1 月 1 日に何歳であったかということで決定される。(もし、1 月 2 日またはそれ以降で 19 歳になる場合には、ジュニアとして参加できる。)ジュニア部門にて競技参加後に、成人部門に移行する際には、成人部門のビギナーBレベルに入る。

ジュニア競技者参加申込みと親の了承

ジュニア競技者はすべてのイベントに参加する際、WCFO ジュニア専用参加申込書を提出しなければなりません。その申込書には必ず彼らの親または保護者のサインが必要です。(ジュニア参加申込書は、WCFO の下記ウェブサイトよりダウンロードすることができます。

<http://www.worldcaninefreestyle.org>)

ジュニア競技者が選ぶ音楽、衣装およびダンス内容は、彼らの親または保護者に承認されていなければなりません。ジュニア競技者はすべての WCFO イベントで親または保護者と同伴で参加し、WCFO の出版物に掲載されたWCFOガイドラインに追随すること。

障害を持つジュニア・ハンドラーや犬は、ジュニアのシングル部門に参加でき、技術点、芸術点で 1.0 ポイントずつハンディキャップを与えられます。事前に承認を行い準備ができるように、参加申込書にどのような障害をもつのかを明記して下さい。

ジュニア競技者の個人的な品行について

1. WCFO イベントに出席しているジュニア競技者は、WCFO メンバーであることを自覚すること: パートナーである犬やWCFOのメンバー、競技会の参加者との絆や思いやりの気持ちを持つこと。
2. ジュニア競技者は、学業においても努力を怠らない生徒であること。
3. ジュニア競技者は、ドラッグやアルコールは禁止です。
4. ジュニア競技者は、競技会場の内外においても、常に良好なスポーツマンシップ精神を忘れないこと。
5. ジュニア競技者が彼らの友人、同級生、学校、クラブやまた他の活発に活動している組織に、ケーナイン・フリースタイル・スポーツを通して、責任あるペット・オーナーとしての喜びと楽しみを広めることを奨励しています。

ジュニア部門

ジュニア部門は、シングル、ブレース、ペアー、そしてチームです。

- ・ ジュニアのシングルにおいては、参加者は HEEL WORK-TO-MUSIC(HTM)、そして、または MUSICAL FREESTYLE(MF)のカテゴリーで競技を行い、レグおよびタイトルを獲得します。
- ・ ジュニアのブレース、ペアー、そしてチームにおいては、MUSICAL FREESTYLE(MF)カテゴリーで競技を行い、レグおよびタイトルを獲得します。

初級レベルの各ジュニア部門には、2 つのクラスが設けられています。: クラス A, クラス B

クラス A : パートナーである犬がジュニア競技者だけでトレーニングされた場合、またはジュニア競技者、犬がともに、あるいはいずれか一方がフリースタイルのタイトルを保持していない場合は、クラス A で競技に参加します。

クラス B : パートナーである犬が別のハンドラーによってトレーニングされた場合、またはジュニア競技者、犬がともに、あるいはいずれか一方がフリースタイルのタイトルを保持している場合は、クラス B で競技に参加します。

WCFO, INC、また、スポンサーとしての主催者組織は希望された場合には、ジュニア部門を下記年齢ごとに区分けする場合があります。:

8 歳(を含む)以下のグループ、9 歳から 12 歳のグループ、13 歳から 15 歳のグループ、16 歳から 18 歳のグループ

ジュニアの演技についての補足要綱

1. 音楽は、犬とハンドラーの関係を描写し、そして犬の個性を表現していること。音楽の選定は慎重に行うこと。音楽のセンスの良さを表現し、歌詞が挑発的、攻撃的でないもの。音楽について親または保護者による承認されている旨の署名が参加申込書に必要です。
2. 衣装は、音楽とルーティンのテーマを表現している趣味の良いものでなければなりません。下記のもののは極力控えること: 女性は短パン、ショーツスカート、タイトなセーター、胸元が開いた服、上腹部やおへそまわりが見える服。男性は胸元が開きすぎている服。犬の動きについての審査の邪魔になったりするような衣装は用いないこと。衣装についても親または保護者の承認されている旨の署名が参加申込書に必要となります。
3. 参加登録したルーティンの犬の訓練は、参加するジュニア競技者によって行われること。ルーティンは年齢に合った演出であること。ルーティンをとおして、性的アピールを示唆する動きは禁止します。

ジュニア・レベルの詳細

最初の 4 つの標準的なジュニア・レベル部門は、ジュニア・シングル、ブレース、ペアー、チーム部門でタイトルを獲得するために競技者に求められることを説明しているガイドラインです。

ジュニア・レベル(1) (クラスAまたはB)

ジュニア競技者は、オン・リードあるいはオフ・リードで、音楽にあわせて動くことが求められます。審査基準は: どれだけ首尾よく犬とハンドラーが動きを実行しているか; 動きの種類; 犬とハンドラーがどのように相互に交流しているか; ハンドラーによる犬の制御。ルーティンは、リング・スペースの 50%を使用すること。ハンドラーと犬は、楽しそうに見えなければなりません。ハンドラーによる犬の制御が審査対象となります。

レベル 1 資格取得に関する情報

レベル 1 でタイトルを獲得するためには、ハンドラーと犬は、技術点と芸術点において規定の回数内 (legs/shows) で、以下に記した最小限の平均点以上とする。ルーティンの演技時間は、以下の規定時間内とする (様々な音楽機器の記録速度や再生に対応するため 15 秒間の短縮、延長が認められる)。タイトルの略語は以下の通り。

ジュニア 1 シングル HTM or MF:平均点 5.5、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JFD/HTM or W-JFD/MF

ジュニア 1 ブレース MF:平均点 5.5、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JBFD/MF

ジュニア 1 ペアー MF:平均点 5.5、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JPFD/MF

ジュニア 1 チーム MF:平均点 5.5、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JTFD/MF

ジュニア・レベル 2(クラス B)

ミュージカル・フリースタイルでのジュニア競技者は、音楽にあわせてダンス・ステップ(足の動き)で踊ることが求められる。ヒールワーク・トゥー・ミュージックのジュニア競技者は、音楽に合った足の動きが審査される。演技はオン・リード、またはオフ・リードで行う。音楽に合った動きであること。審査の基準は:どれだけ首尾よく犬とハンドラーが動きを実行しているか;動きの種類;犬とハンドラーがどのように相互に交流しているか;ハンドラーによる犬の制御。ルーティンは、リング・スペースの 50%を使用すること。ハンドラーと犬が、楽しそうに見えるルーティンが望ましい。ハンドラーによる犬の制御は不可欠です。

レベル 2 資格取得に関する情報

レベル 2(ジュニア B)でタイトルを獲得するためには、ハンドラーと犬は、技術点と芸術点において規定の回数内(legs/shows)で、以下に記した最小限の平均点以上を獲得しなければならない。ルーティンの演技時間は、以下の規定時間内とする(様々な音楽機器の記録速度や再生に対応するため 15 秒間の短縮、延長が認められる)。タイトルの略語は以下の通り。

ジュニア 2 シングル HTM or MF:平均点 6.0、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JFDX/HTM or W-JFDX/MF

ジュニア 2 ブレース MF:平均点 6.0、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JBFDX/MF

ジュニア 2 ペアー MF:平均点 6.0、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JPFDX/MF

ジュニア 2 チーム MF:平均点 6.0、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JTFDX/MF

ジュニア・レベル3(クラス B)

ミュージカル・フリースタイル(MF)でのジュニア競技者は、音楽にあわせて腕(また手)の動きとダンス・ステップを使って踊ることが求められる。ヒールワーク・トゥー・ミュージック(HTM)のジュニア競技者は、腕(手)の動きを使い、足の動きと一緒に音楽にあわせて踊る。ルーティンはオフ・リードで行うこと。首尾よく実行された多様な動きの表現は高く評価される。ルーティンは、リング・スペースの 50%を使用すること。ハンドラーと犬は、積極的に交流し、動きやダンスが一つのチームのように見えなければなりません。

レベル 3 資格取得に関する情報

レベル 3 でタイトルを獲得するためには、ハンドラーと犬は、技術点と芸術点において規定の回数内 (legs/shows) で、以下に記した最小限の平均点以上を獲得しなければならない。ルーティンの演技時間は、以下の規定時間内とする(様々な音楽機器の記録速度や再生に対応するため 15 秒間の短縮、延長が認められる)。タイトルの略語は以下の通り。

ジュニア 3 シングル HTM or MF:平均点 6.5、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JFDM/HTM or W-JFDM/MF

ジュニア 3 ブレース MF:平均点 6.5、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JBFDM/MF

ジュニア 3 ペア—MF:平均点 6.5、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JPFDM/MF

ジュニア 3 チーム MF:平均点 6.5、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JTFDM/MF

ジュニア・レベル4(クラス B)

犬はオフ・リードで、目に見える手での指示はなく、ジュニア競技者と犬はチームのように一体となって動き、踊ることが求められます。他レベルの全てで求められる技を含む。リング・スペースの 50%を使用すること。ハンドラーと犬は交流し、そして良質で多様な完成した動きで流れるように一つの動きから別の動きに移行すること。

レベル4資格取得に関する情報

レベル4でタイトルを獲得するためには、ハンドラーと犬は、技術点と芸術点において規定の回数内 (legs/shows) で、以下に記した最小限の平均点以上を獲得しなければならない。ルーティンの演技時間は、以下の規定時間内とする(様々な音楽機器の記録速度や再生に対応するため 15 秒間の短縮、延長が認められる)。タイトルの略語は以下の通り。

ジュニア 4 シングル HTM or MF:平均点 7.0、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JCH. FD/HTM or W-JCH. FD/MF

ジュニア 4 ブレース MF:平均点 7.0、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JBCH. FD/MF

ジュニア 4 ペアー MF:平均点 7.0、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JPCH. FD/MF

ジュニア 4 チーム MF:平均点 7.0、演技 2 回、1 分 30 秒～2 分 15 秒

タイトル略語—W-JTCH. FD/MF

ジュニア・チャンピオン・レベル

ジュニア・チャンピオン・レベルに参加そして競技するために、まず、WCFO の競技会規則を満たした前述の4つのタイトルを獲得すること。ジュニア・チャンピオンとして競技会に参加している間、ジュニアと犬は“レベル4”ジュニア・ガイドライン規則に従って審査されます。

国内ジュニア・チャンピオン

それぞれの国において、1 月 1 日から各年度行われる国内競技大会会開催日までの間で、ジュニア・チャンピオンは、ビデオあるいはライブ・イベントにおいて 3 回大会に参加しなければなりません。各得点を平均し、その平均値の最高得点者がその国の WCFO 国内ジュニア・チャンピオンになります。

参加ジュニアが、3 つ以上のイベントに参加した場合の最終得点は、上位 3 位の最高得点を平均化したものになります。国内ジュニア・チャンピオンは、WCFO とケーナイン・フリースタイル・スポーツの代表として、デモンストレーション、テレビ出演、新聞取材、資金調達、セミナー、ワークショップなど国内での様々な活動に参加していただきます。各国の国内ジュニア・チャンピオンは、世界ジュニア・チャンピオン大会に出場する資格があります。

世界ジュニア・チャンピオン

各国の国内ジュニア・チャンピオンは、WCFO 世界ジュニア・チャンピオンを目指して世界ジュニア大会に出場することができます。世界ジュニア大会は、ビデオ、または、ライブで行われるか、あるいは各国の国内ジュニア・チャンピオンの上位3得点の集計によって行います。この大会がライブまたはビデオで開催された場合には、それぞれの国内チャンピオンは、無料で参加することができます。この競技会の優勝者は、WCFO 世界ジュニア・チャンピオンに認定されます。世界ジュニア・チャンピオンは、WCFO とケーナイン・フリースタイル・スポーツの代表として、デモンストレーション、テレビ出演、新聞取材、資金調達、セミナー、ワークショップなど世界的な様々な活動に参加していただきます。

ジュニア特別ビデオ競技会

WCFO.INC はジュニア競技者のために、四半期ごとに、ジュニアのビデオ競技会を各国に提案します。これをジュニア特別ビデオ競技会といいます。ジュニアのガイドライン、ビデオ大会のガイドライン、そして下記の補足ガイドラインに従ってこの競技会は行われます。これらの大会においては、特別賞の提供も発表されることがあります。

特注:この競技会は、若いひとたちにフリースタイル競技に参加してもらうために創られましたので、WCFO.INC のメンバーでなくても参加することができます。しかし、もし参加者が WCFO のメンバーであり、良い成績を収めた場合には、レグおよびタイトル取得のための得点としてカウントされます。すべての参加者は賞の対象となります。

これらの特別ビデオ・イベントに参加する場合の参加パッケージは下記あてに送付してください。

Arlene Rauschl, PO Box 144, N5143 Kannisto Road, Rumely, MI 49826 USA

毎年 4 回のジュニア特別ビデオ競技会が開催されます。それぞれの参加申し込み締め切り日は各シーズンに開催される WCFO のビデオ・イベントの締切日と同じです。(冬-3 月 31 日、春-6 月 30 日、夏-9 月 30 日、そして秋-12 月 31 日)

この大会に参加申請する際には、ビデオ競技大会のルールとガイドラインに示されている内容に従い、適切なエントリー・パッケージを用意すること。

エントリー・パッケージに同封する申請書については、WCFO のウェブサイトの中の、ジュニアエントリーフォームセクションを参照のこと。<http://www.worldcaninefreestyle.org>

または、メールにて下記担当者に問い合わせを。

Anna Schloff : allpurposedog@yahoo.com または aschloff@lakeorion.k12.mi.us

この大会参加費については割引された、特別参加料が下記のとおり設けられています。

4H および、または WCFO, INC メンバー : \$6.00

上記以外全て : \$8.00

ペアー、チーム : 申請者以外の参加者ひとりにつき \$2.00

ジュニア特別ビデオ競技会についての区分詳細 (ジュニア=Jr.と表記)

ジュニア A レベル1

(ジュニア参加者自身がトレーニングした犬、そしてどちらもフリースタイルのタイトルなし)

Jr. シングル(HTM または MF)

8 歳およびそれ以下の年齢

9～12 歳

13～15 歳

16～18 歳

Jr. A ブレース(MF)年齢区分なし

Jr. A ペアー(MF)年齢区分なし

Jr. A チーム(MF)年齢区分なし

ジュニアB レベル1

(ジュニア参加者、犬の双方またはいずれかがフリースタイルのタイトル保持)

Jr. シングル(HTM または MF)

8 歳およびそれ以下の年齢

9～12 歳

13～15 歳

16～18 歳

Jr. B レベル1 ブレース(MF)年齢区分なし

Jr.B レベル1 ペアー(MF)年齢区分なし

Jr.B レベル1 チーム(MF)年齢区分なし

ジュニアB レベル2

(ジュニア参加者と犬が W-JFD タイトル保持)

Jr. シングル(HTM または MF)

8 歳およびそれ以下の年齢

9～12 歳

13～15 歳

16～18 歳

Jr. B レベル2 ブレース(MF)年齢区分なし

Jr.B レベル2 ペアー(MF)年齢区分なし

Jr.B レベル2 チーム(MF)年齢区分なし

ジュニアB レベル 3

(ジュニア参加者と犬が W-JFDX タイトル保持)

Jr. シングル(HTM または MF)

8 歳およびそれ以下の年齢

9～12 歳

13～15 歳

16～18 歳

Jr. B レベル 3 ブレース(MF)年齢区分なし

Jr.B レベル 3 ペアー(MF)年齢区分なし

Jr.B レベル 3 チーム(MF)年齢区分なし

ジュニアB レベル 4

(ジュニア参加者と犬が W-JFDM タイトル保持)

Jr. シングル(HTM または MF)

8 歳およびそれ以下の年齢

9～12 歳

13～15 歳

16～18 歳

Jr. B レベル 4 ブレース(MF)年齢区分なし

Jr.B レベル 4 ペアー(MF)年齢区分なし

Jr.B レベル 4 チーム(MF)年齢区分なし

ジュニア・チャンピオン

(ジュニア参加者と犬が W-JCH.FD タイトル保持)

Jr.シングル・チャンピオン(HTM または MF)年齢区分なし

Jr.チャンピオン・ブレース(MF)年齢区分なし

Jr.チャンピオン・ペアー(MF)年齢区分なし

Jr.チャンピオン・チーム(MF)年齢区分なし

特記事項: すべての若者たちは、競技への参加を期待されています！！

WCFOによるタイトルの発行と記録

1. WCFOのメンバーは、WCFOの競技大会におけるタイトル認定書、獲得点とタイトルの記録をすべて無償で受けることができます。(ライブ、ビデオ大会に適用)チームで参加した場合、何人・何頭で参加したとしてもこの対象となります。
2. WCFOのメンバークラブに所属しているメンバーで、WCFOに登録している個々のメンバーはWCFOの競技大会におけるタイトル認定書、獲得点とタイトルの記録をすべて無償で受けることができます。(ライブ、ビデオ大会に適用)チームで参加した場合、何人・何頭で参加したとしてもこの対象となります。
3. WCFOメンバークラブのメンバーであっても、WCFO, INC.に個々に登録していない方は、WCFOの競技大会には参加できません。(特に明記されない限り)
4. WCFOの競技会に参加経験があり、2002年5月31日までにタイトルを獲得、そして記録されたタイトルや発行済みのタイトル認定書をもっているケーナイン・フリースタイルのチームは、WCFOのタイトル保持者としての地位を認めます。WCFOの競技会に参加経験があり、2002年5月31日までにタイトルを獲得、そして記録されたタイトルや発行済みのタイトル認定書をもっているハンドラーと犬のチームは、WCFOのタイトル保持者としての地位を認めます。
5. WCFO, INC.はメンバーチームの地位に関係なく、実力テストについてのタイトルもすべて記録します。(実力テストの要綱参照)

WCFO, INCのメンバー登録申請についてはWCFO, INC事務局にて対応できます。

イノベーション(革新的)“タイトルなし”部門

イノベーション(革新的な)部門は、WCFO, INCのメンバーのための、なんでもありの“ノン・タイトル”の部門です。各イベントプレミアム発表で特に言及している以外は、ライブやビデオで行われるタイトル取得競技会で参加者達に自由に公開されています。

イノベーション・ルーティンは、審査対象にはなりません。いかなるタイトル・イベントでも、イノベーション参加者に、タイトルまたはWCFO公式の賞を与えることはありません。

イノベーション(革新)部門は、競技部門で演じるまでには至っていないが、競技会のような雰囲気の中で犬と演技をして経験をつみたい競技者や、どの競技部門の形式やガイドラインにも適していないルーティンを披露したい競技者に適している部門と言えます。それは、競技者がルーティンを創造する際に、斬新で革新的な動きに挑戦できる場でもあります。下記のような例があげられます(制限あり):

- ・ パフォーマンス・アリーナへの新しいハンドラーと犬(生後6ヵ月以上)。
- ・ ハンドラーと犬の異なる組合せの混成チーム(ハンドラー2人と犬1匹、ハンドラー2人と犬3匹、ハンドラー1人と犬3匹、等)
- ・ ルーティンで、人間あるいは動物を小道具として使用する場合。
- ・ 犬に競技部門では認められないコスチュームまたは衣装を着せている。
- ・ プロのハンドラーと犬。

イノベーション(革新)部門でのルーティン制限時間は、3分15秒(録音と再生機器速度を加味して延長は15秒)

この部門への参加者は、ライブやビデオの定期的な競技イベントで他の競技者が使用するものと同じ参加申込書に記入、署名の上、提出してください。

イノベーション(革新)部門の参加料は、通常の参加費用の半額です。

WCFOフリークエント・ダンサー・ポイント

WCFOのメンバーが他のスポンサー組織によって主催される大会に出場する際についてのみWCFOフリークエント・ダンサー・ポイントを下記要綱に沿って取得することになります。

<u>エントリー部門</u>	<u>参加ごとに獲得するポイント</u>
MF シングル、HTM シングル、SS シングル HD シングル、MF ブレース	1 ポイント
MF ペアー、MF チーム	1人につき 0.5 ポイント
Jr. MF、Jr.HTM、Jr.ペアー、Jr. ブレース Jr. チーム	1人につき 0.5 ポイント
実力テスト	0.5 ポイント
イノベーション	ポイントなし

WCFOフリークエント・ダンサー・ポイント取得のための資格は必要ありませんが、出場して演技を競う必要があります。スコアファイルを提示することによって、その参加者チームが出場して演技を競ったという事実の確認となります。スコアキーパーは、ある参加者チームが失格となり得点を得られなかった場合であっても、出場し、演技をしたということでDQというメモをスコアに明記することが重要となります。得点を得られなかった参加者チームで、DQの表記がスコアになかった場合には、このWCFOフリークエント・ダンサー・ポイント(WFDP)を取得することはできません。

スポンサーイベントにおける個々のエントリーについてそれぞれWFDPのカウント対象となります。たとえば、第一日目に犬A・ハンドラーAがMFインターミディエトに出場したが失格となり、HTMでは入賞、そして犬B・ハンドラーAがHTMビギナーで得点、翌日の大会においては犬A・ハンドラーAでMFインターミディエトに出場して得点、そして犬B・ハンドラーAでHTMノービスに出場したがDQ(犬がリングの外に出

たため)となり、またペアー競技のビギナーレベルにも参加して得点を得た場合、このハンドラーAは、この2日間の競技会を通して、5.5ポイントのWCFOフリークエント・ダンサー・ポイントを獲得するということになります。

スポンサー組織によって開催されるWCFOのイベントに出場して10ポイント獲得した参加者は、ひとつの競技に対する参加費用がフリーになるという特典が得られます。この特典は、次のスポンサー組織によるWCFOの競技会において有効です。このエントリー特典は他者に譲渡することができません。

WCFO,INCは、必要に応じてプレミアム・リストの更新や情報の変更を行うことに関する権利があります。メンバーシップと後援者から指摘があった場合、賞に関する仕組みが変わることもあります。最新情報についてはWCFO社に直接お問合せください。

WCFO社はケーナイン・フリースタイルのスポーツを運営管理しているアマチュア・スポーツ競技会組織です。タイトル、認定審査員と大会規則に関することはメンバーの投票によって承諾しています。WCFOは犬と人間のパートナーを同等に審査します。今日存在する他のどのドッグ・スポーツとも比較することはできません。WCFOが強調していることは、ハンドラーと犬の絆です。有償、無償に関わらず、プロのハンドラーは他の人の犬と参加することはできません。

プロのハンドラーとは、補償、報酬、支払いのために、または金銭、それ以外の報酬のために犬を調教する人のことです。犬の調教が、そのプロの主要な職業または収入源であるかどうかは関係がありません。プロのハンドラーであるかどうかの決定的な要因は存在しますが、それを限定することはできません:

- a. サービスを提供するための名刺または広告がある
- b. トレーニング施設でサービスを提供している
- c. 他のグループや訓練センターでプロのハンドラーとして活動している
- d. 一緒に住んでいない、世話をしていない、準備していない犬を調教している

「有償、無償のプロのハンドラー」またはチームのトレーナーが、他の誰かの犬を調教し、競技に出たい場合は、イノベーションに参加できます。まだ自分の犬と一緒に競技に参加できる段階ではないと思うハンドラーは、有償、無償に関わらずプロのハンドラーと自分の犬を競技部門への参加させることはできませんが、イノベーション部門に参加させることはできます。

他の重要なWCFOの利用できる情報

WCFO,INC. 会員申込書、募金興行と情報
ライブ・イベントを主催するためのWCFO社ガイドライン
WCFO,INC.のビデオ競技会に関するヒントや助言
WCFO,INC.の実力テストや結合したタイトル
WCFO,INC.と4Hクラブ